



癒しの演奏会

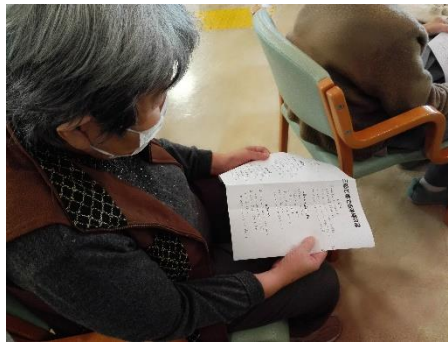
— 2020年11月18日(水)20日(金) —



ボランティアさんによる三線(さんしん)の演奏会をしていただきました。三線はなかなかお目にかかる事のない楽器ですし、生の演奏を聞くこともないのでみなさん真剣に聞いておられました。沖縄民謡や歌謡曲など7曲も演奏してくださり、涙そうそうや花、ふるさとなど知っている曲は歌詞カードを見ながら口ずさんでおられる方もおられました。晩秋の空の下かけはしのホールに沖縄の風が吹いたひと時でした。素晴らしい演奏を本当にありがとうございました。

※三線とは・・・

三線と書いて「さんしん」と読みます。沖縄音楽には欠かせない楽器です。琉球王朝時代中国から伝わった楽器を琉球人の体型に合わせて棹の長さを調整して出来上がったのが三線だそうです。三線の音色は癒し効果があるとされていて全国から注目されています。三線の胴の部分には蛇皮が張られていて主にニシキヘビの皮が使われています。弦は三本でそれぞれ太さが違い太い弦は低い音、細い弦は高音を出します。引くときは牛の角の形をした爪を人差し指にはめて引きます



【あしがき】

コロナ禍であっても紅葉は変わることなく山や自然を美しく染めてくれます。深まりゆく秋の様子はいつもと変わりませんね。短い秋を惜しみながら三密を避けていつもと違う紅葉狩りを静かに楽しむのも今年ならではのですね



◇ 発行 ◇

社会福祉法人 芳醇会 ケアステーションかけはし
通所介護事業所